

『インテリアコーディネーター1次試験 合格教本 第9版 上巻/下巻』

刊行のご案内

資格試験対策29年間の合格ノウハウを全投入した最強の1次対策テキスト！

ハウジングエージェンシー出版局は2014年3月に『インテリアコーディネーター1次試験合格教本 第9版 上巻/下巻』を発行いたしますのでご案内申し上げます。

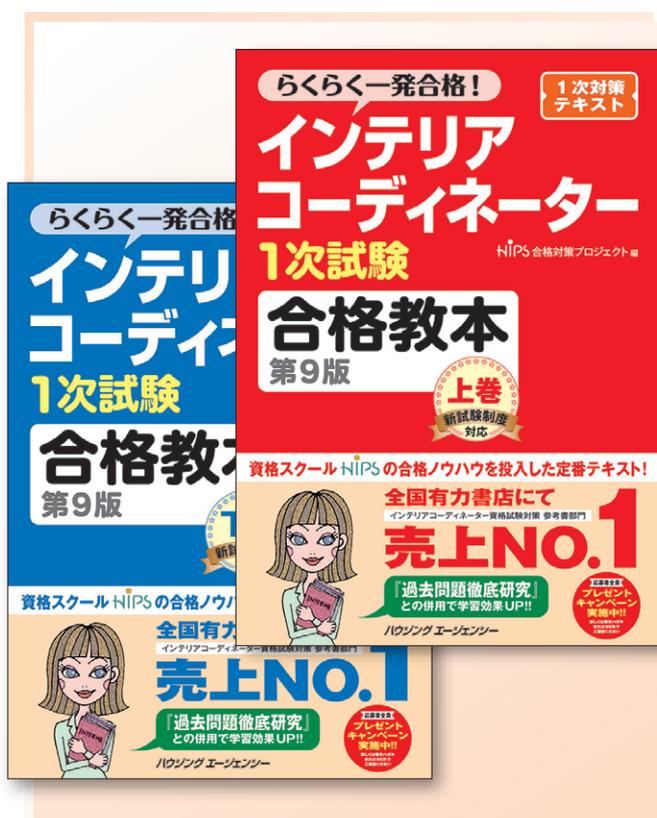
2014年で32回目を迎えるインテリアコーディネーター資格試験は、毎年10,000人以上が受験するインテリア・建築関連の人気資格です。一方で、1次試験の合格率は30%程度であり、簡単には合格できない難関資格でもあります。昨年までは、「販売」と「技術」の2科目で実施されていましたが、2014年実施分からは、これら科目を統合し「学科試験」として実施される予定です。本書はこの新しい試験制度にいち早く対応しております。

また、1次試験対策用として全国の有力書店で最も売れているテキストです。同じく弊社から発売されています「インテリアコーディネーター1次試験 過去問題徹底研究2014(上巻・下巻)」と併用することで、更なる学習効果を得ることができます。

本書の特徴

1. 広範囲に渡る内容を、新試験制度に対応して上巻・下巻に分けて収録。
2. 初学者にもわかりやすいように、豊富な図表やふりがな、詳細な解説、暗記のポイントなどを収録。
3. 各章末に確認テストを収録。
4. 上・下巻それぞれの巻末に約3,000語の索引を収録。調べたい用語をすぐに検索できるので、効率良く学習可能です。
5. 読者アンケートでご要望の多かった2色刷りを第9版でも採用。

インテリアコーディネーター資格試験の受験者をはじめ、多くの大学・短期大学・専門学校様等でも図書教材としてご採用いただいております。



書名：『インテリアコーディネーター1次試験 合格教本第9版 上巻』
『インテリアコーディネーター1次試験 合格教本第9版 下巻』

編者：HIPS合格対策プロジェクト

定価：各2,900円＋税

発行年月日：2014年3月

体裁：上巻/A5判、並製、390頁前後・下巻/A5判、並製、450頁前後

I S B N：販売編/978-4-89990-263-8

技術編/978-4-89990-264-5

※表紙デザイン・定価・体裁などは一部変更になる場合がございます。

『インテリアコーディネーター1次試験 合格教本 第9版 上巻/下巻』に関するお問い合わせ先

 **ハウジング エージェンシー 出版局** (株式会社ハウジングエージェンシー)

担当：和田・似内 (houjin@housing-a.co.jp)

URL <http://housing-a.co.jp/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-6 森正ビル4F

TEL 03-3361-2831 FAX 03-3361-2852

内容紹介・目次

【上巻】

- 第1章 インテリア販売
- 第2章 インテリアの歴史
- 第3章 インテリア計画
- 第4章 色彩と造形
- 第5章 家具
- 第6章 ウィンドウトリートメント
- 第7章 各種工元素ト

【下巻】

- 第8章 構造と施工
- 第9章 材料
- 第10章 家具
- 第11章 環境工学
- 第12章 住宅設備
- 第13章 照明
- 第14章 表現技法
- 第15章 建築関連法規
- 第16章 消費者関連法規
- 第17章 住宅と社会

本書の利用方法

本書は、各項目を見開きページで構成しています。各項目ごとにチェック項目と暗記ポイントを示していますので、それを参考に勉強を進めて下さい。

重要度：3段階(★、★★、★★★：★3
つが最も頻度が高い)で重要頻度を表示。
ただし、★1つだからといって手を抜い
てよいという意味ではありません。

合格くんマーク：この部分の
勉強の仕方をマークで表示。

本文：キーワードは太字で表示しています。
キーワード学習はこの太字を中心に！ふり
がなも大幅に増やしました。

チェック項目：この項目
の内容をまとめてありま
す。本文を読む前にチェッ
クして、勉強の指針とし
てください。

◆寝殿造とは？
寝殿はおよそ次園のような平面構成になっている。建物の中央部
分が母屋(身舎とも書く)、その周囲が庇であり、その境は取り外し
のできる障子(襖のこと)、御簾(すだれ状の間仕切り)、簾代(垂れ幕状の
間仕切り)などが設置されるだけで、室内は開放的な空間だった。いわば屋
内は巨大なワンルームであり、行事などの目的に応じて各種障屏具(間仕切
り家具)で内部を仕切り、家具や調度を設置した。このような部屋の準備、
模様替えのことをしつらい(鋪設・堂礼)という。また、設置される障屏具
や調度のことをしつらい(鋪設)という場合もある。

図のように、母屋の一部に縁籠と呼ばれる場所があったが、ここだけは板
壁で囲われていた。文献によると、住まい手の寝所ないしプライベートな空
間であったことがうかがえるが、平安時代の後期には、ベッドに天蓋をつけ
たような形の御帳番があらわれ、就寝にはそれを使用した。

庇の4周は、屋外との仕切りとして簾戸や、上下半分に分かれた半簾を使
い、渡殿からの入り口には両開きの襷戸を設けた。図の黒丸は柱を表すが、
当時の柱は丸柱であった。

図表：本文の理解を助け
ます。ただし、試験でそ
のまま出題されることも
あるので、あまり気軽に
見過ごさないでください。

暗記のポイント：本文を
読み終わった後、内容を
覚えているかどうか、
チェックするところです。

編者プロフィール

HIPS合格対策プロジェクト

インテリア関連資格書において29年の実績をもつ資格取得スクールHIPS (Housing & Interior Pro School) にて、資格試験の最新情報や出題傾向を分析し、合格のためのオリジナル教材を制作するプロジェクトチーム。HIPSは、合格実績No.1を誇るインテリアコーディネーターをはじめ、インテリアプランナー、福祉住環境コーディネーター、キッチンスペシャリスト、マンションリフォームマネージャーなど数々の資格の合格ノウハウをもち、東京・名古屋・大阪を中心にスクールを展開中。特に「インテリアコーディネーター問題徹底研究シリーズ」は、受験生のバイブルとして絶大な支持を得ている。